

平成 21 年度

全国学力・学習状況調査

調査結果及び課題と指導方法改善のポイント

江戸川区立新田小学校

【調査の概要等】

○ 調査の目的

1. 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
2. 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図り、併せて児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげる。
3. 各学校が各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

○ 調査の対象・調査日

○ 第 6 学年 60 名

○ 平成 21 年 4 月 21 日（火）

○ 調査の内容

○ 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 [国語 A、算数 A]	主として「活用」に関する問題 [国語 B、算数 B]
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能 など	・知識・技能等を実生活のさまざまな場面に活用する ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容 など

○ 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

○ 調査結果の項目

I. 国語 A・B の各正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

○ 国語の「内容ごとの課題等」及び「指導方法改善のポイント」

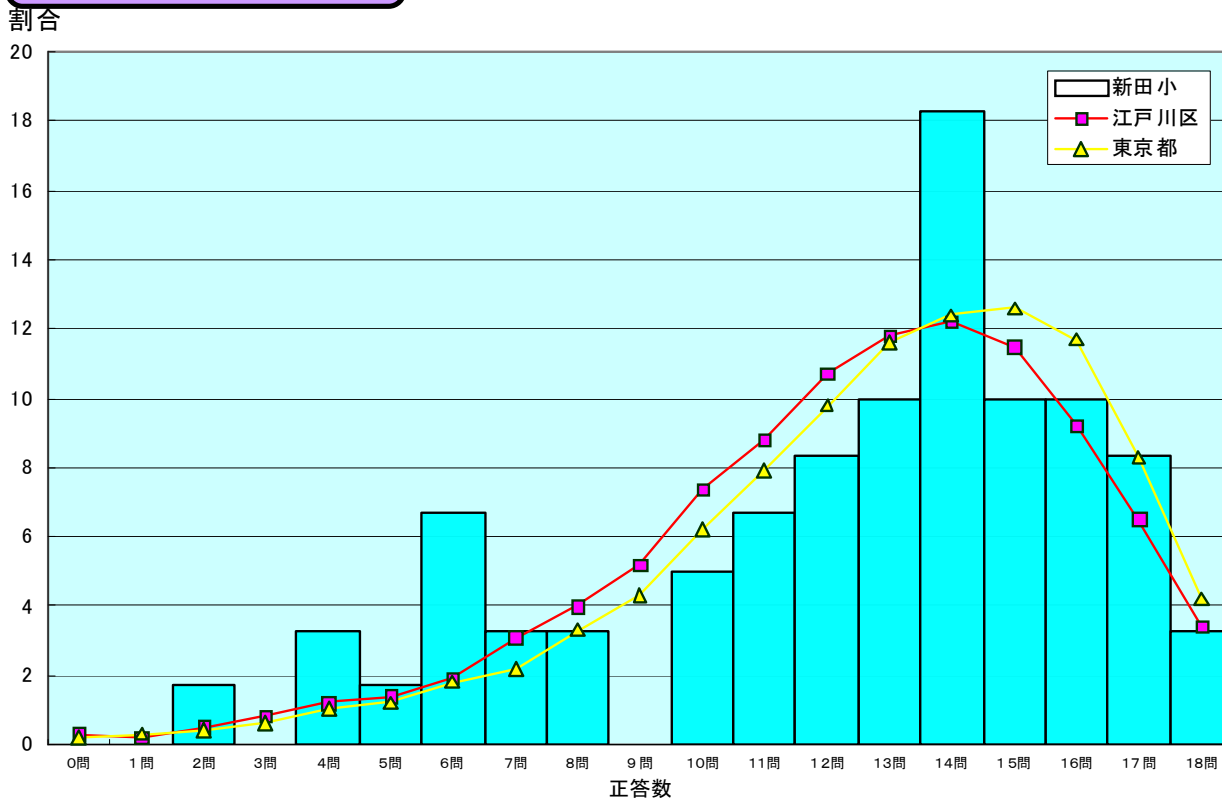
II. 算数 A・B の各正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

○ 算数の「内容ごとの課題等」及び「指導方法改善のポイント」

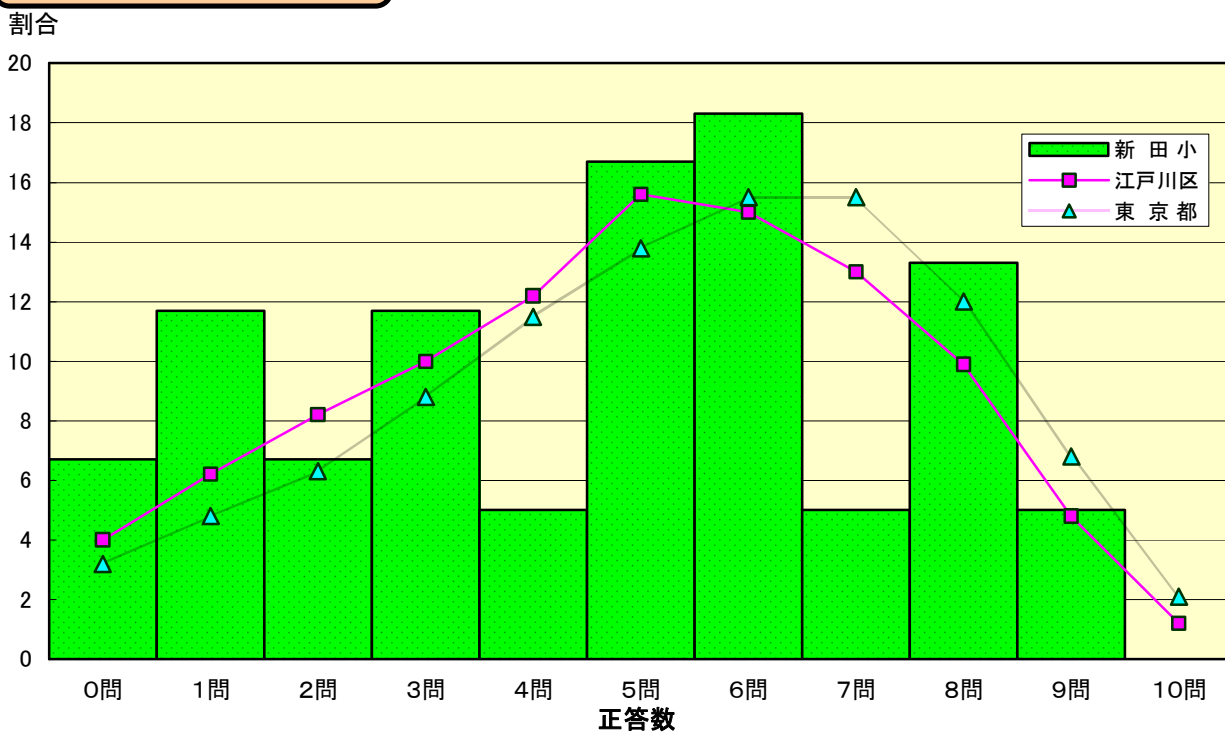
I. 国語

○国語A・Bの各正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

国語A：主として知識



国語B：主として活用



内容ごとの課題等

【話すこと・聞くこと】

- ◆ A：話し合いの様子から司会の進め方の良いところを見つけ、説明することに課題がある。
- ◆ B：話し手の立場や意図をとらえて聞くこと、また目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫して明確にして意見を述べることに課題がある。

【書くこと】

- ◇ A：はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書くことはできている。
- ◇ A：文章の内容に合わせて小見出しを付けることもおおむねできている。
- ◆ B：調べる内容を見通して必要な事柄を整理し、資料から選び取ることに課題がある。

【読むこと】

- ◇ A：文学的な文章の表現の工夫をとらえることはよくできている。
- ◆ B：説明文において筆者の表現の工夫に着目して読んだり、筆者の考えを要約して書いたりすることに課題がある。

【言語事項】

- ◇ A：漢字を正しく読んだり書いたりすることは、よくできている。
- ◆ A：文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を正しく使うことや、指示語の種類や役割と働きは、ほぼ全員の児童がよくできている。

指導方法改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- 話し合いにおける司会の役割や働きをとらえて話し合いを計画的に進められるように、話の内容を整理しながら全体に投げかけたり板書をしたりするなど、言語活動を具体的に活用する指導の充実を図る。
- 相手の反応を見て分かりやすいように整理しながら話したりする具体的な言語活動を取り入れていく。それらを通して、話すこと・聞くことに関する技能を育む指導の充実を図る。

【書くこと】

- 目的や意図に応じて必要な事柄を整理し、資料や意見から必要な内容を選択したり関連づけたりする。また、与えられた条件の中で要約したり書き換えたりする言語活動を取り入れた指導の工夫を図る。

【読むこと】

- 説明的な文章を読む際に、文章の構成や巧みな叙述などにも着目して読むことができるようにする言語活動の充実をはかる。

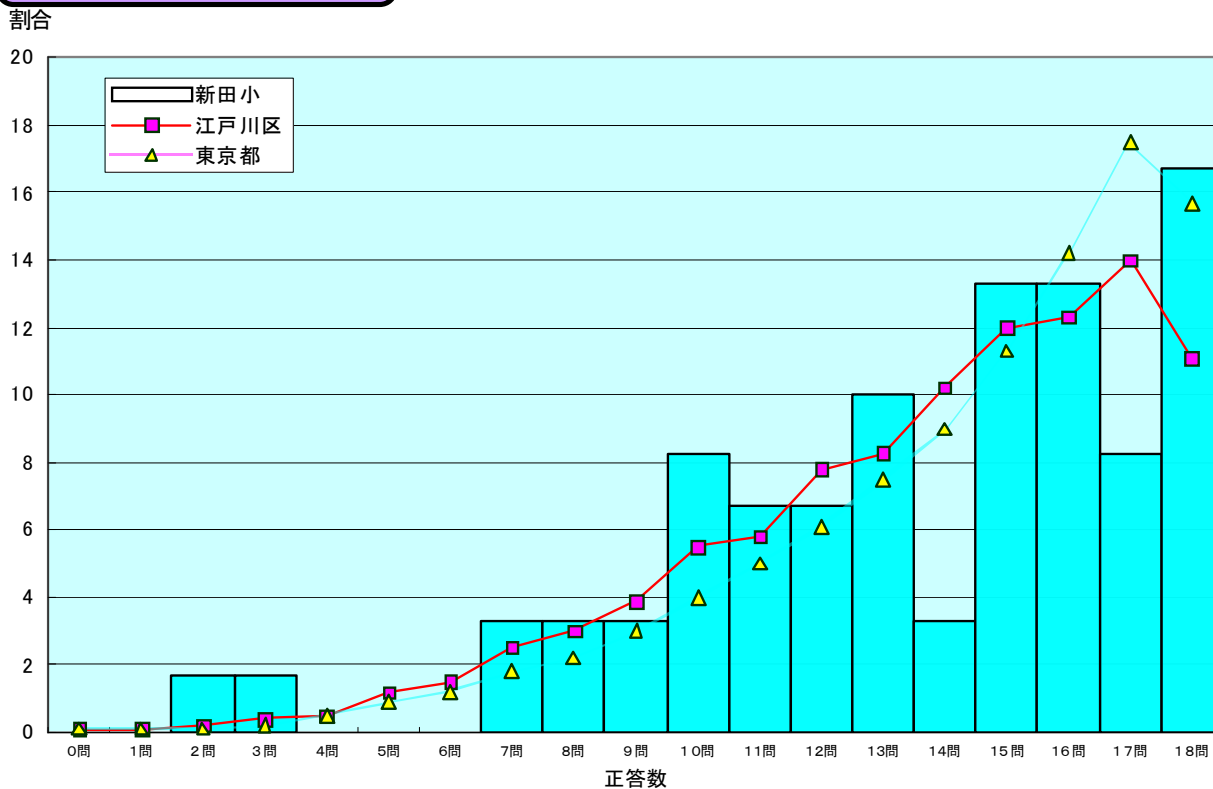
【言語事項】

- 文の構成を理解し、二つ以上の内容を一つの文にまとめて書いたり、二つ以上の内容が含まれた文を内容ごとに一文ずつに分けて書いたりする指導の充実を図る。

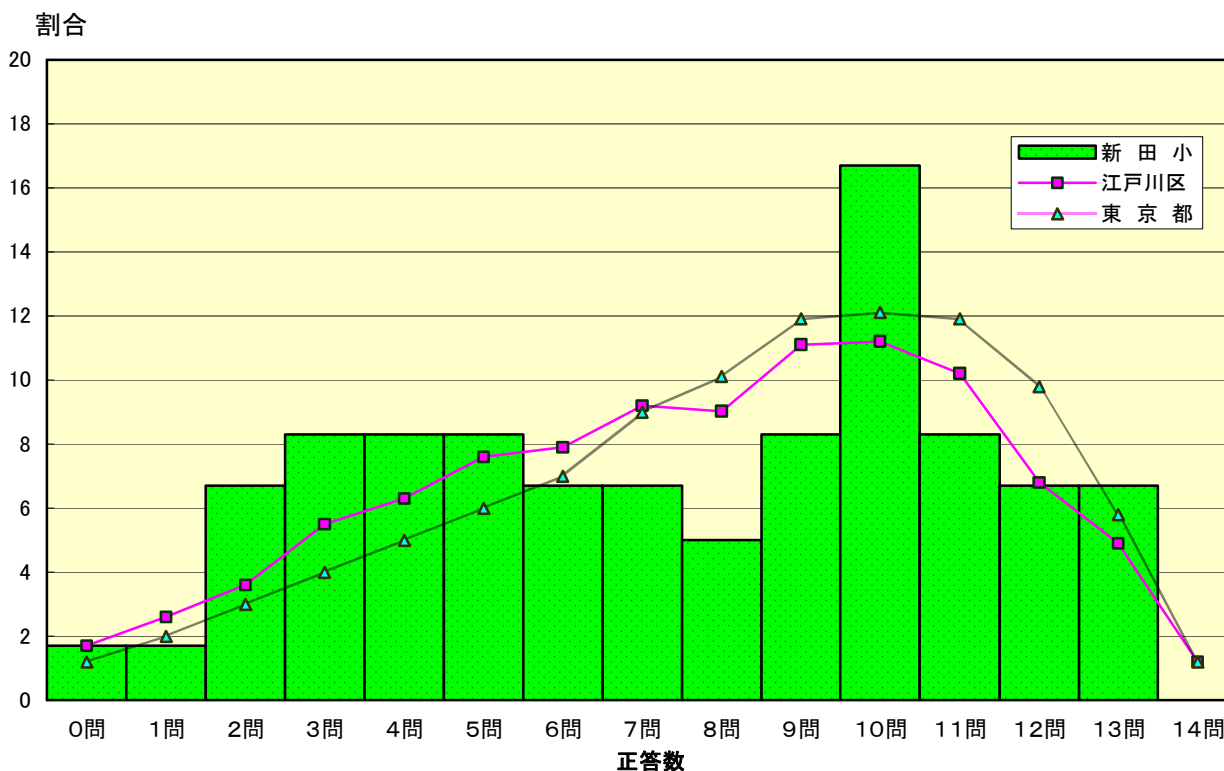
Ⅱ. 算 数

○算数A・Bの各正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

算数A：主として知識



算数B：主として活用



内容ごとの課題等

【数と計算】

- ◇A：整数、小数、分数の四則計算がよくできている。
- ◆A：整数の性質（奇数・偶数）の理解と概数で表すことに課題がある。
- ◆B：情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を数学的に表現することに課題がある。

【量と測定】

- ◇B：与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表を読み取り選択することができている。
- ◆A：長さについての感覚を身につける必要がある。
- ◆B：情報を基に筋道を立てて考え、過不足なく表現したり結論を導きだしたりすることに課題がある。

【図形】

- ◇A：長方形や直角三角形の定義や性質について理解できている。
- ◆A：四角形の4つの角の大きさの和を求めることに課題がある。
- ◆B：図形を変えて考える発展的な場面で、示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを数、言葉と式を用いて記述することに課題がある。

【数量関係】

- ◇B：グラフの特徴を基に、数量の変化の様子をとらえることができている。
- ◆A：資料を二つの観点から分類整理し、表を用いて表すことに課題がある。
- ◆B：棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で表すことに課題がある。

指導方法改善のポイント

【数と計算】

- 身の回りの場面を基に、整数の性質や概数を数直線上に表す活動の充実を図る。
- 判断の正しさを説明する場面を設定し、判断の正しさを説明するために示すべき事柄を考えたり、不十分な説明を適切な内容に改善したりする活動の充実を図る。

【量と測定】

- 見当をつけてから測定する活動の充実を図り、基準となる量の大きさについての感覚を身につけることができるようにする。
- 複数の情報を整理して表などにまとめる活動や個々の情報からわかることを明らかにして、それを基に問題の条件に合うものを判断する活動の充実を図る。

【図形】

- 多角形をいくつかの三角形に分け、三角形の内角の和と等しくなることを確認する活動などを取り入れ、多角形の内角の和を演算的に考える活動の充実を図る。
- 式を書くだけでなく、解決過程で用いた数や式の意味を、言葉を用いて説明する活動の充実を図る。

【数量関係】

- 資料を分類整理したり、それらの場合を言葉で表現したりする活動の充実を図る。
- グラフが何を表しているかを具体的な数値で確認する活動の充実を図る。